

1. 基本情報						
事務事業番号	02424	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		内線番号	3981	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~)	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(~)	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境やジオパークに関するものなどを捉えた「自由部門」と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えた「エアポート部門」の2部門で構成する写真の公募展。
 写真に対する関心を高めてもらうと共に、霧島の魅力を再発見し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。
 応募作品撮影期間 1月～翌年1月

【手順】
 開催要項の決定 募集チラシの作成・広報 応募作品の受付 応募作品の審査
 優秀作品の展示・表彰(各地区の巡回展も開催する)
 出品料=1点目1,000円。2点目以降1点につき500円。各部門1人5点まで。(学生は無料)

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 延べ展示日数	日	139	0	0	140
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 写真に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	529	0	0	530
イ 写真に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	201	0	0	220
ウ 写真に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	93	0	0	100

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 令和3年度は事業休止。
 令和4年度は再開予定だが、事業規模や運営方法など懸案事項について事前に検討しておく必要がある。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	275	0	275	320	0
	一般財源	千円	278	0	275	275	0
事業費		千円	553	0	0	595	0

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 令和3年度は隔年開催のため事業休止。	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 令和3年度は隔年開催のため事業休止。
--	--

事務事業 番号	02424	事務 事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		C 本事業によって長年、鑑賞者に霧島の魅力を伝えてきており、入賞作品は市が作成する資料等の素材としても活用している。しかしながら、素材写真は多く保存されており、入賞者も固定化していることから、フォトコンテストとしての一定の役割を終えたと考えられるため、廃止の検討をする必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持				
	縮 小				
	休廃止（統合含む）	レ			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	令和3年度は隔年開催のため、事業休止。 令和4年度は再開し、事業規模や運営方法など懸案事項を改善し事業に取り組む。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	事業の継続、廃止について具体的検討を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	市民環境部長	本村 成明
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評	事業の効果について各論あり。現在は隔年開催となっている。 芸術文化振興の側面から取り組むべき事業であることの理由づけを明確にする。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02425	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		内線番号	3981	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~)	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(~)	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
平成16年に国分市制施行50周年と舞鶴城築城400周年を記念して「国分市美術展」として初開催。平成17年は「きりしまいきいき塾」事業の一環として開催され、合併後の平成18年からは「霧島市美術展」と名称を変更し、旧霧島町で開催していた「8号洋画展」をテーマ部門として位置づけ開催した。平成22年は市制50周年記念として「こども絵画展」を同時開催し、翌23年から「こども絵画展」を「ジュニア部門」として編入した。平成25年から「全国公募」を開始、平成29年から名称を「きりしま美術大賞展」へ変更し現在に至っている。令和4年度から会期を変更して開催する。 美術展の運営については、実行委員会を組織している。						
【手順】 実行委員会(開催要項決定など) ポスター・チラシ作成 広報 実行委員会(具体的な実施方法について) 搬入(6月中旬~下旬) 審査(6月下旬) 表彰式及び展示(7月下旬) 搬出(7月下旬~8月下旬) 巡回展(旧田中家別邸)(7~8月) 実行委員会(精算事務)						
活動指標(事務事業の活動量)		単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア	延べ展示日数	日	0	27	27	26
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア	市民	人口	人	124,882	123,908	123,066
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア	美術に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	0	2,900	2,891
イ	美術に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	0	2,750	2,841
ウ	美術に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	0	2,600	2,774
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
全国公募をうたっているが県外からの応募はまだ少ない状況なので、県外の美術系高校、大学への周知広報、公募サイト等SNSを活用した情報発信に努める コロナ禍での開催となるため、表彰式等密になる可能性が高いところについては徹底した対策を講じる 同時期(令和3年10月)に「地域伝統芸能全国大会かごしま大会」が開催されるため、他課の協力をもちょうと事前にスタッフの確保に努める。		事業費	千円	0	0	0	0
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	1,534	1,532	1,559
		事業費	千円	0	1,534	1,532	1,559

5. 令和3年度の実績及び成果	
(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
国分シビックセンター市民ギャラリー、エントランスホール、共通ロビーを利用して展示会を開催し、一般・ジュニア部門の入賞・入選作品を展示した。 ・展示期間 令和3年10月2日~10月15日(14日間) ・展示点数 431点(自由43、テーマ52、ジュニア336) (巡回展=令和3年10月19日~10月31日(13日間)/展示点数 48点(自由24、テーマ24)) ・応募総数 2,891点(自由102、テーマ91、ジュニア2,698) ・応募者数 2,841人(自由79、テーマ64、ジュニア2,698) ・一般応募者数 143人(霧島市76、鹿児島市21、伊佐市8、姶良市7、その他県内16、県外15)	前回と比較すると自由部門が13点増加、テーマ部門が6点減少、ジュニア部門が100点減少した。一般(自由・テーマ)部門は前回と比較すると増加したものの、減少傾向にある。ジュニア部門は前回が大幅に増加したため、今回は減少したが、増加傾向にある。また、中学生からの応募が前回から比較して253点増加した。 幼児から80代といった幅広い年齢層から応募があった。 一般(自由・テーマ)部門の市内応募者は59%、市外(県内)応募者は33%、県外応募者は8%に留まったが、遠くは愛知県からも応募があった。

事務事業 番号	02425	事務 事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 他市町で同様の公募展や美術団体ごとの展示会が行われているが、霧島に特化した部門を設けることで愛郷心を育み、未来を担う幼児・小中学生の豊かな心の醸成に寄与している。しかし、一般部門の出品者数が減少していることから、さらなる情報発信が必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止(統合含む)			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	全国公募をうたっているが県外からの応募はまだ少ない状況なので、県外の美術系高校、大学への周知広報、公募サイト等SNSを活用した情報発信に努める。 コロナ禍での開催となるため、表彰式等密になる可能性が高いところについては徹底した対策を講じる。 令和4年度は例年の開催時期である10月に「全国和牛能力共進会」が、令和5年度に「国民体育大会」が本市で開催されるため、開催時期を6～7月に変更して実施する。作品の保管場所や、人員の配置など、開催時期変更によって考えられる影響を事前に考慮したうえで円滑に業務を進めていく。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	全国公募展として応募者が増加するよう、市内の愛好家を育成するとともに市外、県外における、本美術展の認知度を向上する手段を検討する。また、開催時期を変更したことで出品数に影響があった場合は、開催時期や運営方法を検討する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止(統合含む)					
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入(予算)の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02427	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(~)	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市内の小中学生に良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供することで、豊かな心の醸成を図る。

- ・小学生対象 = 市町村による青少年劇場(市内の小中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。)
- ・中学生対象 = 生徒芸術鑑賞会事業(市内の中中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。)
- ・小学6年生対象 = 劇団四季「こころの劇場」(市内の小学6年生全員を市民会館に招待し演劇鑑賞の機会を提供する。)
- ・その他芸術文化事業(文化庁・県主催等)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 舞台演劇・コンサートの開催数	回	17	13	12	13
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,497	3,600	3,555	3,600
イ 霧島市内の小学生	霧島市内の小中学生の数	人	7,463	7,500	7,352	7,500
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	2,500	5,800	3,873	5,800
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 小学生対象の青少年劇場(音楽)は3年毎にメニューを見直しであり、令和3年度から「弦楽四重奏会」を実施、令和3年度まで同様の予定であった中学生対象の生徒芸術鑑賞会事業はみやまコンセルの「おとどけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。劇団四季「こころの劇場」は劇団側の都合で中止。全ての事業について、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施時期、実施方法等を検討していく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	3,049	2,599	2,525	3,092
事業費	千円	3,049	2,599	2,525	3,092

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1 青少年劇場「弦楽四重奏団 Bienen Quartet」6公演(9校) 国分西小5~6年、宮内小1~6年、牧之原小1~6年(福山小1~6年)、陵南小1~6年、牧園小1~6年(三体小1~6年、万膳小1~6年)、青葉小1~6年 1,832人 2 生徒芸術鑑賞会「おとどけコンサート」4公演(4校) 国分中1年、3年、陵南中1~3年、国分南中1~3年、木原中1年~3年 963人 3 劇団四季「こころの劇場」オンライン配信 視聴小学校 23校 762人 4 その他芸術文化事業(文化庁・県主催)の活用 (文化庁巡回公演分) 牧園中1~3年 120人 牧之原中1~3年 96人 (県青少年のための芸術鑑賞事業) 小野小4~6年 100人 合計 3,873人	青少年劇場では全国で活躍するアーティストの生演奏を、生徒芸術鑑賞会事業では県内アーティストの生演奏を披露し、市内の小中学生に良質な芸術・文化に触れる機会を提供することができた。 劇団四季「こころの劇場」は劇団側の都合で、令和2年度は中止、令和3年度はオンライン配信となった。 文化庁巡回公演事業はオーケストラによるクラシックコンサートを行い、県青少年のための芸術鑑賞事業はバレエ公演を行った。 観劇した児童生徒数は昨年度より412人増加した。実施した事業については、検温、手指消毒はもちろん大規模校については鑑賞人数を制限するなどの徹底したコロナ対策を講じた。

事務事業 番号	02427	事務 事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 感受性の高い児童生徒の感性を高めるためには優れた芸術文化を体感させることが重要であり、次世代を担う子どもたちの豊かな心の醸成に寄与する事業であるため継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	小学生対象の青少年劇場（音楽）は3年毎にメニューを見直しており、令和4年度から「笑いの芸能『寄席』」を実施。令和6年度まで同様の予定。中学生対象の生徒芸術鑑賞会事業はみやまコンサールの「おとどけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。劇団四季「こころの劇場」は昨年度に引き続き動画配信で鑑賞する。 全ての事業について、新型コロナウイルスの感染対策を万全に行い、実施していく。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	全ての児童生徒に小学生のうちに2回、中学生のうちに1回芸術鑑賞の機会を、小学6年生で演劇鑑賞の機会を提供しており、今後も継続していく。劇団四季「こころの劇場」の再開が可能か劇団側と調整を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02428	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実			内線番号	3981
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(平成30年度 ~ 令和4年度)	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等		
評価区分		標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 会館の管理運営及び自主文化事業の企画運営も含め「(株)舞研」を指定管理者として委託し、新たに5年間の指定管理が開始された。施設や設備に修繕が必要とされた場合は、年間におおむね100,000円までは指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担としている。(基本協定書第15条第2項)
 [施設の概要]
 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル)
 延べ床面積 4,472㎡
 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12
 休館日 毎月第1月曜日、年末年始 開館時間 午前9時~午後10時

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 会館日数	日	347	347	347	347	347
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639	123,370
イ							
ウ							
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 文化的催し物を鑑賞してもらおう	総入場者数	人	21,898	69,600	32,876	69,600	69,600
イ 稼働日数	貸し館等の利用があった日数	人	141	347	174	347	347
ウ 稼働日数(ホール)	ホールの利用があった日数	日	103	202	154	202	202

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。
 ・建築後50年以上、大規模リニューアル後20年以上経過し、老朽化が進んでいるため、複数年にわたる大規模改修を計画的に行う必要がある。
 ・各ガイドラインに基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	466	0	466	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	3,404	5,352	3,404	4,192	4,192
一般財源	千円	57,386	49,393	90,473	47,651	48,879
事業費	千円	61,256	54,745	94,343	51,843	53,071

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 自主文化事業をはじめ、芸術文化団体の芸術祭や文化祭の開催、幼保園の発表会、小中学校の文化部活動及び吹奏楽部演奏会などに利用された。また、霧島市事業として成人式や健康福祉祭りなどに利用された。年間を通じて111件、32,876人が利用した。その内、市民会館自主文化事業として7つのプログラムを実施し、2,681人の方が鑑賞や体験をした。

(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 文化協会等の芸術祭や、学校の発表会に場所を提供することにより、市民が芸術文化を発信することができた。また、市民会館自主文化事業、コンサートや演奏会が開催されることにより市民が音楽や舞台などの芸術に親しむことができた。コロナ禍での難しい施設運営となったが、指定管理者と協働し各感染予防ガイドラインに基づき対策を行い、利用者の安全を図った。

事務事業 番号	02428	事務 事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 市民会館は、芸術文化の拠点施設である。現在、指定管理者制度を導入し、円滑に運営を行っている。公共性の高い施設である為、市費を投じるのは妥当と言える。自主文化事業を通し、質の高い舞台芸術に市民が触れられる機会を設けている。しかし、施設の老朽化などハード面の問題があるため、施設の今後のあり方を検討する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			レ
		維持			
		縮小			
		休廃止(統合含む)			
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・市自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。 ・建築後50年以上、大規模リニューアル後20年以上経過し、老朽化が進行しているため、複数年にわたる大規模改修を計画的に行う必要がある。 ・各感染予防ガイドラインに基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 				
(3) 令和5年度の方向性(具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修を計画的に実施する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、適切な施設運営を行う。 				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名	市民環境部長	本村 成明
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
		休廃止(統合含む)			
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 総評	市民の芸術文化活動の拠点として利用しやすい、また、鑑賞しやすい施設運営に努める。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02429	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進			担当課長	久木田 勇
基本事業名	002	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援			グループ	スポーツ・文化グループ
予算科目目	会計 一般会計 10 教育費 06 社会教育費 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成 8年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
スポーツ・文化振興課が所管する芸術文化団体(霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会及び霧島国際音楽祭・霧島国際音楽交流会)が行っている活動は本市の芸術文化振興に多大な貢献をしていることから、補助金を交付してその運営の継承及び安定化を図っている。						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	
ア 補助を行った団体数	団体	3	5	3	5	5
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 補助団体	補助団体数	団体	5	5	3	5
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 適切に運営される	適切に運営された団体数	団体	4	5	4	5
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
文化協会、霧島神楽振興会において高齢化による会員の減少が顕著になりつつあり、新構成員の加入促進が必要である。また、活動が困難になりつつある文化協会支部もあり、支部活動のあり方について検討する時期を迎えている。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら活動を実施していく。		事業費	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	8,476	9,184	9,001	9,484
		事業費	千円	8,476	9,184	9,001	9,484

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
文化協会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、芸術祭舞台部門や、例年支部ごとに実施している文化祭の中止や内容変更等を余儀なくされたが、できる範囲での活動を行った。(補助金額:1,668,250円/一部返納) 少年少女合唱団は中止、参加辞退となったイベントもあったが、感染防止対策を徹底しながら練習を続け、県少年少女合唱祭、文化協会国分支部文化祭などのイベントに出演した。また、関係者のみの発表会を開催した。(補助金額:0円/全額返納) 霧島国際音楽祭は、日程、内容等の大幅な変更があったものの、徹底した感染防止対策を講じて冬の音楽祭として開催した。(補助金額:7,000,000円) 霧島国際音楽祭交流会は、新型コロナウイルス感染症対策が難しいことから中止とした。(補助金額:0円) 霧島神楽振興会は、無観客の配信ライブとなった天孫降臨霧島祭や郷土芸能の夕べに出演した。(補助金額:333,000円)	各団体ともにコロナ禍で思うように活動できない部分があったが、感染症対策を徹底しながら、できる範囲で活動を行った。 例年より回数は減少したものの、市民を含めた多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供できた。

事務事業 番号	02429	事務 事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 各団体の活動により、市民が芸術文化に触れるきっかけづくりができている。また芸術文化活動の受け皿となる団体の維持継承に市費を投じることは、多くの市民にその機会を与えることに繋がっていると考えられる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	高齢化による会員減少等が顕著に表れている団体もあり、組織体制や事業の見直し等を行い、関心層を増やす必要がある。広報誌をはじめ、ウェブやSNS等、あらゆるツールを活用し、活動状況や、イベント紹介等、積極的な広報等の支援を行う。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	各団体の活動継続のため、会員拡大や周知広報、組織のあり方について、指導、助言等を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
	休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02447	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	久木田 勇
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3981
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和33年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市内の各地区ごとにスポーツイベントを開催する事業。運営は市及び各地区実行委員会等が連携して行っている。全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。
【実施計画】
 国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール)、溝辺地区(球技、駅伝ウォーキング)、横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)、牧園地区(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ミニ運動会、バレーボール、ゴルフ、ソフトボール)、霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション)、隼人地区(ウォーキング、室内ベタンク、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 各地区スポーツ祭参加者数(7地区27競技)	人	370	4,000	661	4,000
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 霧島市居住者及び通勤者	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア スポーツ祭を通して住民相互の親睦を図れる	スポーツ祭を通して親睦を図れた市民の数	人	370	5,500	621	4,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題
 令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 より多くの市民が参加しスポーツを楽しめるよう、日程や種目についてニーズ把握に努めるとともに、競技団体や地区を越えた取組について検討する。
 また、コロナ禍における大会開催のあり方について、協議、検討、調査等を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	1,800
一般財源	千円	295	1,800	491	0
事業費	千円	295	1,800	491	1,800

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら可能な範囲で実施した。 【実施事業：8 中止事業：19】 国分地区(ミニバレー：中止、グラウンド・ゴルフ：中止、ソフトボール：中止)補助金額0円 溝辺地区(球技：中止、駅伝、ウォーキング)補助金額125,000円 横川地区(ミニバレー：中止、グラウンド・ゴルフ：中止、駅伝：中止)補助金額0円 牧園地区(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ミニ運動会：中止、バレー：中止、ゴルフ、ソフトボール：中止)補助金額106,500円 霧島地区(バレー：中止、ゲートボール：中止、卓球：中止、グラウンド・ゴルフ：中止、レクリエーション：中止)補助金額0円 隼人地区(ウォーキング、室内ベタンク：中止、ソフトボール)補助金額230,000円 福山地区(ミニバレー：中止、ゲートボール：中止、パークゴルフ：中止、グラウンド・ゴルフ)補助金額140,000円	新型コロナウイルス感染症の状況により、各地区主催者で開催可否の判断を行い、4地区8競技は実施したが、3地区はすべての競技が中止となり、市民の運動機会の充実を図る取組が減少した。

事務事業 番号	02447	事務 事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 地区自治公民館やスポーツ推進委員等の市民の主体的な取組みであり、市が補助金交付や事務的補助を行うことは、参加者や観戦者のスポーツを、する・みる・支えるの観点から、スポーツをする機会の創出と、相互の親睦を図られ、市民のスポーツ活動が充実することから妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休 廃 止 (統 合 含 む)			
			皆 減	縮 小	維 持
					拡 大
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	より多くの市民が参加しスポーツを楽しめるよう、日程や種目等、開催地区の実情に応じた取組について検討する。 また、コロナ禍における大会開催のあり方について、協議、検討、調査等を行う。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	自主的な運営が図れるよう、引き続き各実行委員会への助言・指導を行い、年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるプログラムの実施に取り組みたい。 また、新型コロナウイルスの状況に配慮しながら、感染症対策を徹底し、市民の運動機会の提供を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休 廃 止 (統 合 含 む)					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
							コスト投入（予算）の方向性
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02448	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	久木田 勇	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成 3年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・場 所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等を行い、展示館への無料見学を実施している。

・種 目 ジョギングの部 4.8km (高校生以上)、 2.4km (小・中学生)

駅伝の部 一般男女・混成・中学男女7区 9.6km、小学男女8区9.6km

・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)3,000円/人 ・中学生以下2,000円/人

駅伝の部 一般(高校生以上)8,000円/チーム ・中学生 7,000円/チーム ・小学生 5,000円/チーム

主催は、霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会。職員は実行委員会事務局員として、会場の設営、コースの確認、協賛金の依頼・徴収、大会運営などを主体的に行っている。県内外からの参加があり駅伝競技としては県内でも位置づけられた大会に成長しており、市の魅力度アップにつながっている。最近では自動計測システムを導入し参加者へのスピーディな記録集計を行っている。

令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となり、第30回記念大会を計画した令和2年度及び令和3年度は連続して次年度へ延期となった。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 駅伝コース(部門)の数	コース・部門	0	7	0	7	7
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	0	1,900	0	1,500	1,500
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しめた人の割合%		0	100	0	100	100
イ 上野原縄文の森を知ってもらう	来場者数(イベント参加者数)	人	0	5,500	0	4,300	4,300
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動がこしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がこしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

大会を通じてより多くの方が運動や健康に関心を持ってもらうほか、市内外・県内外から広報に頼らず参加できるよう大会ホームページ等を活用しながら広報に努めること、また、鹿島マラソン大会等の開催に伴い、参加者がやや減少傾向にあるため、資金面において大会運営が非常に厳しい状況になってきている。新たな参加者の確保や協賛企業の支援をいたしたく、このことや、コロナ禍において参加者の減少や感染予防経費の増大等が懸念される中、30回記念大会であることと、新たな参加者の獲得を図る。

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	2,500	0	2,500
		一般財源	千円	0	0	0	2,500
		事業費	千円	0	2,500	0	2,500

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の実績(取組)による成果を記載>
令和元年度が中止となり、令和2年度に引き続き30回記念大会実施の可能性を模索したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から次年度へ延期となった。	駅伝大会延期により事業成果を上げることができなかったが、協賛企業、関係者の方々に速やかに延期の連絡を行い、引き続き次回大会への参加、支援等を要請した。

事務事業 番号	02448	事務 事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		C	縄文の森駅伝大会参加者の運動習慣を継続する機会とスポーツ振興に寄与することや、市外からの参加者に上野原縄文の森を知ってもらうとともに市の観光PRを目的として、地元企業協賛や各団体の協力を得て開催してきた。上野原テクノパークの企業立地が進んでいることによる駐車場や安全の確保が年々難しくなっていることや、子ども館が設置されたことが上野原縄文の森の知ることにもつながることから、事業休止や廃止について検討を行う。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持			
		縮小			
	休廃止(統合含む)	レ			
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	大会を通じてより多くの方に運動や健康への関心を持ってもらうほか、市内外、老若男女を問わず参加できるよう大会ホームページ等を活用しながら広報に努める。 近年、鹿児島マラソンやこぼやし霧島連山絶景マラソン大会等の開催に伴い、参加者がやや減少傾向にあるため、大会運営資金が非常に厳しい状況である。コロナ禍ではあるが、新たな参加者の確保や協賛企業の支援をいただけるよう努める。また、3年間実施が見送られたことや、コロナ禍において参加者の減少や感染予防経費の増大等が懸念されるが、30回記念大会であることから、安全対策を行いながら、従来の参加者を呼び戻すとともに新たな参加者の獲得を図る。 上野原縄文の森周辺は工業団地として企業立地が進み、参加者の駐車場確保が厳しい状況であるほか、こども館開館に伴う交通量も増加しており、大会開催の懸案事項等の精査を行い、今後の開催可否について具体的協議を進める。				
(3) 令和5年度の方向性(具体的な取組)	令和4年度の協議結果に基づいて事務を進める。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名	市民環境部長	本村 成明
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持			
		縮小			
	休廃止(統合含む)	レ			
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 総評	事業の果たしてきた役割や、今後のスポーツイベントのあり方などを踏まえ、継続の是非について方針を決定する。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02449	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成23年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進審議会条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
市のスポーツの推進に関する事項について調査審議するため、スポーツ基本法第31条の規定に基づき、霧島市スポーツ推進審議会を設置している。審議会は霧島市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する。						
(1) 生涯スポーツの推進に関すること。						
(2) スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。						
(3) スポーツ団体及び指導者の育成に関すること。						
(4) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。						
組織は、スポーツ関係団体、及び校種別代表、計10人の委員で組織している。						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 開催されたスポーツ審議会の回数	回	3	3	1	2
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア スポーツ審議会委員	スポーツ審議会委員	人	10	10	10	10
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア スポーツの推進に関する事項を審議する	スポーツ審議会に諮問した件数	件	1	2	0	2
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画	
第2期スポーツ振興計画の目標達成に向け、進捗状況の確認を行うほか、スポーツに関する施策の提言や課題解決に向けた協議を行う。		事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	113	120	34	81
		事業費	千円	113	120	34	81	

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
スポーツ推進審議会を3月に開催し、「令和3年度主なスポーツ振興の取組」、「コロナ禍におけるスポーツ活動」、「スポーツ大会等実績報告」、「地域部活動」の4点について、意見交換等を行った。	スポーツ振興についての取組、現状等について説明し、委員から指導、助言をいただいた。

事務事業 番号	02449	事務 事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法及びスポーツ推進審議会条例によって設置されているものであり、縮小・廃止はできない。また事業費についても出席した委員の報酬及び費用弁償のみであり削減の余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 4年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	スポーツに関する施策の提言や課題解決に向けた協議を行う。					
(3) 令和 5年度の方向性（具体的な取組）	審議会への諮問内容等を整理し、他市の審議会運営についても参考にして活発な審議・進言ができるよう、運営を改善する。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02450	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等 スポーツ基本法・霧島市立学校施設使用条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体がれば、登録することにより定期的に借りることができる。小学校(屋内34箇所・屋外35箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外12箇所)
 【使用料】一般: 体育館220円、武道館220円、グラウンド850円 児童生徒: 体育館110円、武道館110円、グラウンド430円
 利用日誌の管理は管理指導員が行い、スポーツ・文化振興課へ報告。集計表をもとに市が納付書を発行し入金確認する。

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	開放した学校の体育施設の数(小学校(体育館・グラウンド)・中学校(体育館・グラウンド・武道館))	施設	67	94	63	94
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	市民	人口	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア	スポーツ活動ができる	延人数 (学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った人)	170,271	180,000	159,864	180,000
イ	スポーツ活動ができる	利用団体数 (学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った団体数)	239	260	222	260
ウ						

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) ・実績報告の入力誤り等の発生リスクが高いため、事務の効率化ができないか検討する。 ・現在、利用の翌月以降に使用料の請求事務を行っているが、入金が遅滞している団体も散見される。未納団体へは督促状を送付し、支払いを促す。		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	1,779	2,002	1,779	2,002
		一般財源	千円	247	379	132	433
		事業費	千円	2,026	2,381	1,911	2,435

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> ・利用延人数: 222団体 ・利用延人数159,864人 ・利用団体の登録教務、使用料納付書の請求業務、集計業務、管理指導員への報酬支払い業務を行った。 	市民スポーツの推進、コミュニティ活動の促進が図られた。また、学校体育施設を開放し、活用することにより地域住民の親睦とコミュニティスポーツの普及と健康増進、生涯スポーツの振興に成果を上げることができた。また本事業で事故等の発生もなく、安全に体育施設を開放することができた。

事務事業 番号	02450	事務 事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 本事業を縮小等した場合、多くの市民のスポーツ活動の場がなくなり、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能を十分に発揮できなくなるため、継続して取り組むことが妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	<改善内容> ・令和3年度に新システムを準備し、事務の簡素化を図ることができた（令和4年度から新システム運用開始） ・使用料の入金が遅滞している団体に対する督促状の送付を令和3年度から実施。入金の滞納が殆ど見られなくなった。 <課題> ・国分地区の運動場夜間照明の管理運営は、旧国分市時代から各地区自治公民館で実施している。令和3年度国分地区自治公民館連絡協議会総会（令和4年2月開催）において、他地区と同様に、市で直接管理してほしいとの要望が出された。				
(3) 令和5年度の方向性（具体的な取組）	・国分地区の運動場夜間照明の管理運営について、市で直接管理する方向で調整を行う（鍵の管理、使用料の収受等の課題有り） ・各学校運営協議会の管理指導員（教頭等）と連携し、効率的・簡素な事務運営を目指す。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02451	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	久木田 勇
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化G
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>・目的: スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。</p> <p>・内容: 団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施</p> <p>・各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本球[®]少300円・県球[®]少300円・市球[®]少100円)、単位団1団(市球[®]少1,000円)。</p> <p>・団登録受付期間は6月30日まで、追加登録受付期間は8月6日まで。</p> <p>・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給</p> <p>・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等</p> <p>・スポーツ少年団活動領域にかかる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加</p>						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回	11	12	12	12
イ 競技種目数	種目	10	12	10	12
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 霧島市スポーツ少年団員	登録団員数	人	966	1,000	949	1,000
イ 霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数	団	59	60	60	60
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数(体力テスト1級/テスト上参加者)	%	0	15	0	15
イ 奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数	人	0	345	0	345
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。</p> <p>また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動がこしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がこしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
<p>・新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で活動を行うよう周知を行う。</p> <p>・毎年4月29日(昭和の日)に実施している「スポーツ少年団結団式」について、参加率の向上が見込める開催内容の検討を行い、今後開催の要否の検討を行う。</p> <p>・令和2年度から指導者に関する制度等が改定されたため、各団への周知を徹底する。</p> <p>・スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、指導者の役割が大変重要であるが、スポーツ少年団のあるべき姿を正しく理解していただけない団もあり、更なる研修が必要である。</p>	

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,113	1,305	1,305	1,305
		事業費	千円	1,113	1,305	1,305	1,305

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、スポーツ少年団研修会や歳末たすけあい募金など、昨年実施できなかった行事を実施することができた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、総会は書面決議、スポーツ少年団フェスティバル(3競技)が中止となった。</p> <p>令和3年度:登録団:60団 団員:949名 指導者:158名 役員・スタッフ:100名 新規団:2団 廃団:1団。</p>	<p>コロナ禍において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、可能な範囲での活動を行い、スポーツを通じた青少年の健全育成活動に努めた。また、2年ぶりに研修会を開催し、スポーツ少年団活動の目的や理念等について、育成会や指導者等に対し、再認識してもらう機会を提供することができた。</p>

事務事業 番号	02451	事務 事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 本事業は、スポーツを通じた児童生徒の健全育成を図るものであり、事業規模の縮小は、子供の成長や、日常的なスポーツ活動に重大な影響を与えることとなるため、継続が妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 毎年4月29日（昭和の日）に実施している「スポーツ少年団結団式」について、参加率の向上が見込める開催内容の検討を行う。 令和 2年度から指導者に関する制度等が改定されたため、各団への周知を徹底し、スムーズな資格移行を行ってもらう。 スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、指導者の役割が大変重要であるが、スポーツ少年団のあるべき姿を正しく理解していただいていない団もあり、更なる研修が必要である。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で活動を行うよう適切な指導を行う。 				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 「スポーツ少年団」の理念、あり方について、研修会等を通じて、指導者、育成会に共通認識を持ってもらう。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02452	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化G
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和36年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進委員に関する規則・霧島市非常	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内各地区から推薦を受けた者を市がスポーツ推進委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民スポーツの振興のため指導・助言を行う。

- ・各地区のスポーツ推進委員(国分26人、溝辺12人、横川7人、牧園10人、霧島7人、隼人20人、福山8人)計90人
- ・スポーツ推進委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等
- ・ニュースポーツ指導(全地区)、県地区対抗女子駅伝競走大会(全地区)、県下一周駅伝大会(溝辺、霧島を除く全地区)等

職員は各地区の担当者が事務局として関与。市民のスポーツに関する連絡調整、スポーツイベントの企画運営役を下支えしている。スポーツ推進委員の活動後、報酬・費用弁償の支払い事務を行う。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア スポーツ推進委員開催行事	回	0	10	1	2
イ 会議の回数	回	37	45	38	45
ウ 指導回数	回	7	35	13	35

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の数(各地区より)	人	90	91	90	91
イ 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア スポーツ推進委員の指導力が向上する	出前講座(ニュースポーツ講座)派遣回数	回	7	35	13	35
イ 市民のスポーツへの関心が高まる	スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合(%)を令和2年度実績から、出前講座参加人数に変更	人	317	320	270	330
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、コロナ禍で対応しながら、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民のニーズに応え、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに寄与できるように、独自の研修会開催や地域のスポーツ振興事業等を主体的に参画・実施する。		事業費	千円	0	0	0	0
		財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
事業費	千円	3,218	8,393	4,292	8,294	8,294	

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

- ・協議会組織内の部会(総務・研修・女性部会)を中心に自主的かつ積極的な活動が行われた。
- ・市研修会を研修部会の企画運営のもと開催し、ニュースポーツの実技研修会を行った。
- ・県地区対抗女性駅伝、県下一周駅伝において、大会運営・補助業務に当たった。
- ・13回の出前講座(小学校、自治公民館等へニュースポーツの実技指導等)を行った。

(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

- ・地区単位で実施するスポーツイベントにおいて、企画・運営・指導・連絡調整の業務に従事し、市民へのスポーツ普及推進を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったイベントが多数あった。
- ・研修部会を中心に独自で研修会を計画したことで、これまでの地区、県、九州地区での研修会だけでなく、より実状に近い内容の研修会実施が見込めるようになった。
- ・ニュースポーツ体験講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から回数は減少したが、地域のコミュニケーションづくり、スポーツへの興味・関心の高揚等が図られた。
- ・県等の研修会が中止となったため、ポッチャ審判養成講習会を市委員の研修の一環として取り入れた。

事務事業 番号	02452	事務 事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	自治体は、スポーツ基本法により非常勤公務員であるスポーツ推進委員を置くことが定められており、スポーツ推進委員活動の費用についても主に報酬と費用弁償となっており、委員定数の減少を除き、これ以上の削減は見込めない。市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを行う環境づくりをよりよいものにするためにも、今後も自己研鑽に努め、スポーツ推進委員の資質向上に繋がる活動が必要となる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、コロナ禍であることに配慮しながら、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民のニーズに応え、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに寄与できるよう、独自の研修会開催や地域のスポーツ振興事業等を主体的に参画・実施する。また、事業目的等を考慮しながら委員定数の適性数等の検討を行う。					
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	スポーツ推進委員の資質向上に努めるとともに、より一層生涯スポーツの振興を図るため、事業目的等を考慮しながら委員定数の適性数等の検討を行う。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充						
		維持						
		縮小						
		休廃止（統合含む）						
			皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02453	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和29年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 昭和29年奄美の日本復帰などを記念してスタートした大会で、平成30年度66回大会で、前回大会と一部区間(霧島市内)のコース変更がありました。1日目11区間128.9km、2日目10区間112.8km、3日目11区間122.3km、4日目10区間106.4km、5日目11区間113.4km合計5日間53区間583.8kmでタスキをリレーする。霧島市は、第3日目中継所2箇所(横川・牧園)、ゴール1箇所(隼人)、第4日目スタート1箇所(国分)及び中継1箇所(福山)、第5日目中継2ヶ所(福山・国分)があり、中継所接待及び走路の交通誘導等を行い、選手が安全に競技できるよう大会を支援する。
 ・南日本新聞社主催の、県内男子では最大規模の駅伝大会である。
 ・本事業を開催するに当たり、中継所、ゴール、スタートの会場設営、駐車場の確保、雑踏整理を行っている。また、交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。歓迎催事の太鼓、吹奏楽の手配も例年実施しているが、令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しなかった。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)	令和4年度 (見込)	令和5年度 (見込)
ア 自主交通整理員・誘導員数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	183	185	197	185
イ 中継所・スタート・ゴール箇所(横川、牧園、隼人、国分、福山)	箇所	7	7	7	7
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)	令和4年度 (見込)	令和5年度 (見込)
ア 県下一周市郡対抗駅伝出場者	駅伝大会出場者数(霧島市内走者)	人	96	96	96	96
イ 観戦者	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (目標)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた個所数	箇所	84	84	84	84
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 本大会は、令和3年度で69回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず市民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を使用するため、事故を起さないコース確保と、必要ながる市が関係部署や主催者など関係各所を連携し、責任をもつ必要がある。また、スタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		決算	当初予算 決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	0	93	28	93
事業費	千円	0	93	28	93

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 選手が安全で快適に競技できる環境作りのために、第3日目中継所2箇所ゴール1箇所、第4日目スタート1箇所、中継1箇所、第5日目中継2ヶ所を、スポーツ推進委員のべ76名、職員等のべ121名で、中継所設置、ゴール設置、スタート設置等の環境の整備を行った。	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 事前に広報誌等で駅伝大会の実施について市民に周知した。また、ゴール周辺の地域住民に配慮し、安全かつトラブル防止のため警備員として職員を配置した結果、選手、運営従事者、観客等に事故等は生じず大きな混乱は見られなかった。
--	--

事務事業 番号	02453	事務 事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 全県をあげての大会であり、本市の判断で廃止・縮小等することは大会運営に重大な影響を及ぼすため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	本大会は、令和 4 年度で70回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず県民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を使用するため、事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置、警察や主催者など関係各所と連携を図り、責任をもって市が関与しなければならない、コロナ対策を講じながら、今後も最善の注意をもって取り組む必要がある。またスタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	本市が担当する中継所・スタート・ゴールの場所について、道路事情や声援を送る市民の状況を精査しながら主催者と連携・調整して最善のコースとなるよう努める。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02454	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化G
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和63年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本イベントはMBCが主催する。鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、毎年1月の最終日曜日に開催される県内ではトップクラスの女子駅伝大会。6区間21.095kmの区間で競争し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。
 ・参加チーム(鹿児島地区・指宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区)計12チーム
 ・コース 霧島市準人運動場をスタート 鹿児島神宮前交差点 鹿児島神宮入口交差点 木之房交差点 ホテル京セラ前交差点 河川敷 野口橋交差点 下井 野口橋交差点 ホテル京セラ前交差点 鹿児島神宮入口 鹿児島神宮前交差点 霧島市準人運動場
 ・本事業を開催するに当たり、開閉会式の会場設営。グラウンドの整備、整地。防霜対策としての塩化カリウムの散布、及び200mトラックを整備している。また、走者沿道ののぼり旗の設置と撤収。交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に専事している。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 交通指導員設置人数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	74	71	89	71
イ 中継箇所	箇所	6	6	6	6
ウ コース美化距離(自治会等によるボランティア)	km	5	5	5	5

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192
イ 観戦者	人口	人	124,882	123,908	124,840	125,000
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移				
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) この大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、このような選手が走る姿を身近に肌で感じる機会を作ることができるとは、開催市であるからに他ならない。今後も市民により一層親しまれる大会にするために大会PRなど積極的に行っていきたい。また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う、明箇所の再点検や交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議・検討する必要がある。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う。		単位	2年度決算	3年度当初予算	4年度当初予算	5年度計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	2,773	2,773	2,788
	事業費	千円	2,773	2,773	2,788	2,819

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 職員延べ75名(事前準備48名+大会当日27名)、スポーツ推進委員58名、交通安全協会21名を動員し、選手が安全で快適に走れるコースづくりを行うとともに、市民が安心して応援できる環境を整備した。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全に開催することができた。

(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 鹿児島県内最高レベルの女子駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れることや市民が安心して応援できる環境を整備することにより、女子長距離界の選手の育成・強化と市民トップレベルの選手を身近に見る機会を提供することができ、「観るスポーツ」のレベルアップが図られた。

事務事業 番号	02454	事務 事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	この県内トップレベルの大会が安全に開催され、市民が安心した応援できることは、市民スポーツ活動を充実させることに繋がる。そのためコースの整備や中継所の設置・運営、応援者の安全確保のための警備や交通誘導は、市が取り組むべき事項である。現在、必要な交通警備員やボランティア員を必要数確保し、効率的かつ効果的に配置しており、これ以上の人員削減や業務時間の削減は、安全な大会運営に支障をきたす。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	この大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、トップレベルの選手が走る姿を身近に肌で感じる機会を作ることができるのは、開催市であるからに他ならない。今後も市民により一層親しまれる大会にするために大会PRなど積極的に行う。 また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う立哨箇所 の再点検や交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議・検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き効率的かつ効果的な人員配置や業務スケジュールを検討し、関係機関との連携を取り、安心安全な大会運営を行うとともに市民の「観るスポーツ」の機会提供を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報					
事務事業番号	02455	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	3982
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和30年度 ~) 期間限定複数年度(~)
	款	10 教育費			
	項	07 保健体育費			
	目	02 社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>							
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)							
各種大会の予選を勝ち抜き九州及び全国大会への出場が決定しているもの、各種大会の県選抜の一員として、又は、各種団体の代表者からの推薦を受け九州及び全国大会への出場が決定している個人、団体に補助金を交付する。 〔補助金の交付対象〕 市内の小・中学校の児童・生徒及び団体((財)日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。) 市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体((財)全国高等学校体育連盟加盟校、(財)日本高等学校野球連盟加盟校は除く。) 〔補助金の額〕 九州大会：予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体上限(小中学生)200,000円 (小中学生以外)30,000円 個人5,000円、左記以外 団体10,000円 個人3,000円 全国大会：予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体上限(小中学生)200,000円 (小中学生以外)50,000円 個人10,000円、左記以外 団体25,000円 個人6,000円							
(2) 事務事業の目的							
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	
ア	補助を行った件数	件	21	135	39	135	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア	出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	人	149	650	276	650
イ							
ウ							
(3) 総合計画との関係							
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)							
年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。							

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 小・中学生の補助金上限額の増額及び新たにスポーツ少年団対象として加えるなど、令和 2年度に当該制度を改正したため、広報誌やホームページに掲載するなど周知に努める。		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	788	3,200	800	3,200	3,200
		一般財源	千円	22	89	711	89	89
	事業費	千円	810	3,289	1,511	3,289	3,289	

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【令和 3年度実績】 大会別の交付件数 九州大会：17件、準全国大会：2件、全国大会：20件 計39件 個人・団体別の交付件数及び交付額 個人：23件 306,000円 団体：16件 1,205,000円 計 1,511,000円	全国大会、九州大会に出場した個人・団体に補助金を交付。市からの補助金を交付することで参加者の励みになり、霧島市のスポーツ振興が図られた。 令和 3年度の交付実績は、新型コロナウイルス感染対策を完全に各大会が実施され、昨年度と比較して交付件数は18件の増(185.7%)、交付額は701千円の増(186.5%)といずれも増加した。

事務事業 番号	02455	事務 事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	全国、九州大会出場者の経費負担が軽減されることから、スポーツ活動の活性化に結びついている。市民が鹿児島県を代表して参加することは、青少年をはじめ多くの市民に夢や感動を与える。また、活力ある地域づくりを進めていくうえで、大きな意義があることから市が行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	当該制度の活用を促進するため、広報誌やホームページ等により積極的に周知に努める。				
(3) 令和5年度の方向性（具体的な取組）	中・長期的なスポーツ振興、競技力の向上等には、青少年育成が重要であり、また、青少年が家庭の経済的理由により全国大会等出場の障害とならないようより手厚い支援が必要であることから、青少年世代に当該制度を知っていただけるようホームページ、市報掲載、スポーツ競技関係団体等への周知、総会等の会合での周知を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充						
		維持						
		縮小						
		休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大			
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02456	事務事業名	市スポーツ協会等運営支援事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化G
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 平成18年6月23日、旧1市6町の体育協会を一つに統合するための総会が開催され、霧島市体育協会が発足。本事業は、市スポーツ協会(平成30年度名称変更)への補助事業であり、協会が各種競技団体を統括し、一体となった活動を行うことで、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。事務書記1名。
 ・加盟団体数・会員数 35団体約8,000人
 ・種目:陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・全空連空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・ソフトバレー・太極拳・防具付空手道・パワーリフティング・少林寺拳法・トランポリン・なぎなた 全34種目(R3年度末でクレール射撃が脱退)
 職員は、監査、総会、地区大会、県大会に事務局員として参加。当協会の事務局員として連携している。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 各競技団体による大会の開催	回	102	230	82	230
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 市体育協会加盟団体	加盟団体数	団体	35	36	35	36
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 各競技団体の活性化を図る	新しく企画した大会の数	回	6	4	5	4
イ 各競技団体の活性化を図る	加盟団体の加盟者数	回	8,068	9,000	7,435	9,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体・会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。
 ・法人化に向けた検討・協議を引き続き行う。
 ・「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた協体制を整えていくことが必要ことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,039	20,075	16,636	18,541	18,541
事業費		千円	10,039	20,075	16,636	18,541	18,541

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 市民の体力向上・健康増進及び競技力向上を目指して活動している霧島市スポーツ協会へ事業負担金の交付を行った。同協会は、35の競技団体が加盟し、市民の健康・体力向上及びスポーツ振興を目的とした事業を展開し、大会、組織強化、育成大会等を開催し競技力向上を図った。協会のさらなる発展のため加盟団体数の増加にも努めており、令和2年度に1団体(なぎなた)加盟したが、令和3年度末で組織存続が難しい等を理由にクレール射撃連盟が協会を脱退した。	(2) 令和 3年度の実績(取組)による成果を記載 各種競技団体が実施する事業等に対し、通常の補助金に加え、新型コロナウイルス感染症対策費を増額した支援を行い、感染拡大防止に努め、市民のスポーツをする機会の提供及び競技スポーツの振興が図られた。
---	---

事務事業 番号	02456	事務 事業名	市スポーツ協会等運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市スポーツ協会が開催する多数のスポーツ大会等は、市民へのスポーツの普及振興と競技スポーツの振興に寄与している。また、市と協働するスポーツ事業も担っており、継続的に支援していくことは必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ活動の機会提供及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。 競技団体の組織強化を図るための支援を行う。 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた協力体制を整えていくことが必要なことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。 法人化に向けた検討・協議を引き続き行う。 				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ活動の機会提供及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。 法人化に向けた検討・協議を引き続き行う。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02457	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和2年度 ~ 令和6年度)	
目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設設管条例	
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
【施設の概要】所在地:霧島市国分清水309番地、施設及び開設日:国分体育館(昭和52年)、国分運動公園陸上競技場(平成8年)、国分球場(昭和51年)、庭球場(昭和51年)、多目的広場(平成5年)、多目的屋内運動場(平成11年)、国分武道館(昭和57年)、国分弓道場(昭和58年)、開館時間:8:30~22:00
【指定管理者】株エルグ・テクノ、指定期間:令和2年度~令和6年度
 *指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目に入っている。
【主な利用料金】国分体育館(960円/時間)、国分運動公園陸上競技場(1,170円/時間)、国分球場(520円/時間)、庭球場(300円/面)、多目的広場(670円/時間)、多目的屋内運動場(720円/時間)、国分武道館(480円/時間)、国分弓道場(490円/回)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 指定施設数	施設	8	8	8	8	8
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	17	30	12	30	30
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	17	30	12	30	30

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639	123,370
イ							
ウ							
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	96	95	99	95	95
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	148,138	250,000	124,774	250,000	250,000
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・国体開催控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設設備の修繕を行うこと、 ・令和3年度末に陸上競技場の3種公認継続申請を受験予定であり、あらかじめ検定員から指摘されている事項等を踏まえて、必要な改修を実施する。合わせて、必要な備品の購入を行う。 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	50,247	54,198	51,625	53,643	53,643
事業費	千円	50,247	54,198	51,625	53,643	53,643	

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 51,625千円 【市の活動実績】 ・修繕料 8件 4,987千円 ・委託料 3件 2,741千円 ・備品購入 10件 19,491千円 ・改修工事 6件 契約額 218,304千円 ・コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を行った。	・利用者アンケートでは施設の総合的な印象において99.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。 ・コロナ禍においても適切な管理運営を行った結果、コロナウィルスによる大きな感染拡大などなかった。 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02457	事務 事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設、設備の修繕を行う。 スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が更に安心・安全に利用できるよう、計画的に修繕を行う。 国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設、設備の修繕を行う。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02458	事務事業名	国分総合プール管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)	
目	03	社会体育施設費		根拠法令・条等	霧島市営プールの設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：霧島市国分中央一丁目14番78号、施設(開設年)：屋内プール(H3)、屋外プール(H3)、開館時間：屋内プール及び屋外プール10:00~21:00
 【指定管理者】(株)エルグ・テクノ 管理期間：令和2年度~令和6年度

【主な利用料金】屋内・屋外プール 一般：430円 高齢者：220円 児童生徒：220円 未就学児：無料

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和 2年度(実績)	令和 3年度(見込)	令和 4年度(見込)	令和 5年度(見込)
ア 指定施設数	施設	3	2	2	2
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	24	30	18	30
ウ 指定管理者による利用者確保のためのPR回数	回	24	30	18	30

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度(実績)	令和 3年度(見込)	令和 4年度(見込)	令和 5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度(実績)	令和 3年度(目標)	令和 4年度(目標)	令和 5年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	85	95	90	95
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	33,183	65,000	32,086	65,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

- 施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。
- スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。
- 令和3年度末に競泳プール再公認申請を受験する。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	41,612	43,108	43,288	43,108	43,108
事業費	千円	41,612	43,108	43,288	43,108	43,108

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

【指定管理料実績】
 ・指定管理料実績 43,289千円

【市の活動実績】
 ・修繕料 9件 5,181千円
 ・委託料 3件 346千円
 ・備品購入1件 385千円

・コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。
 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を図った。

(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

・利用者アンケートでは施設の総合的な印象において90.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。
 ・コロナ禍においても適切な管理運営を行った結果、コロナウィルスによる大きな感染拡大などなかった。
 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02458	事務 事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	・施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	水難事故を防止するために、指定管理者に施設管理を徹底してもらうと共に、定期点検等により、危険箇所の早期発見を心がけ、利用者の安全を確保する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
	維持						
	縮小						
	休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02459	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和3年度 ~ 令和7年度)	
	目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等 霧島市都市公園条例ほか	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：(国分海浜公園)霧島市国分下井2512番地(北公園)霧島市国分清水5丁目9番地39(南公園)霧島市国分上井183番地(児童体育館)霧島市国分広瀬2丁目34番地11(春山緑地公園)霧島市国分重久5550番地2 (開設日)：国分海浜公園(昭和58、59、62年、平成11年)、国分北公園(平成2年)、南公園(昭和58年)、児童体育館(昭和50年)、春山緑地公園(平成26年度) 開館時間：(国分海浜公園、北公園、南公園)8：30～22：00 (児童体育館)10：00～22：00 (春山緑地公園)8：30～18：30(10～3月は17：00まで)

【指定管理者】(一財)霧島市施設管理公社、指定期間：令和3年度～令和7年度

【主な利用料金】国分海浜公園体育館：バレーボール(1面につき1時間)一般240円・子ども120円、国分北公園多目的広場：ソフトボール(1面につき1時間)220円、国分南公園：ソフトボール場：220円(1時間)、国分児童体育館：240円(1時間)、春山緑地公園：野球(1面につき)360円

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 指定施設数	施設	11	11	11	11
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	6	6	4	6
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	6	6	4	6

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	69	80	95	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	119,724	120,000	141,733	120,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。
 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。
 ・経年劣化に伴う国分海浜公園第1グラウンド芝欠損箇所の大規模修繕(張替)を行い、養生等に留意したメンテナンス方法を習得することで修繕時状態を維持できるように努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	34,756	37,739	37,968	38,739	37,739
事業費	千円	34,756	37,739	37,968	38,739	37,739

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 37,969千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕料 7件 3,536千円 委託料 1件 144千円 備品購入3件 941千円 <p>・指定管理者と連携をとり、コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。</p> <p>・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは施設の総合的な印象において95.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。 コロナ禍においても適切な管理運営を行った結果、コロナウィルスによる大きな感染拡大などなかった。 指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02459	事務 事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 ・国分海浜公園第1グラウンドの芝養生等に係るメンテナンス方法を習得することで適正な芝管理を行えるよう努める。 				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	指定管理者の蓄積された知識、技術等を活かすため、施設管理者との月例報告会（毎月）を設けるようにすることで、施設の修繕等の適切な優先順位を定めるため、利用者ニーズや競技団体の意見を把握する取組みを行う。また、日々変わり行くコロナ禍の感染状況を正確に把握し適切な安全運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02464	事務事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10 教育費			単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07 保健体育費			期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)	
	目	03 社会体育施設費		根拠法令・条約等	霧島市営体育施設の設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
【施設の概要】所在地：霧島市隼人町内山田1丁目14番地16、施設及び開設日：隼人運動場(昭和44年)、隼人体育館(昭和45年)、隼人武道場(昭和55年)、隼人弓道場(平成14年)、開館時間：8：30～22：00
【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間：令和2年度～令和6年度
 *隼人運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。
【主な利用料金】隼人運動場ソフトボール1面(220円/時間)、隼人体育館バレーボール1面(240円/時間)、隼人武道場1面(120円/時間)、隼人弓道場(60円/回)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 指定施設数	施設	4	4	4	4
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	8	8	9	9
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	8	8	9	9

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・期待通りだった」の割合	%	74	70	75	75
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	97,617	145,000	96,127	145,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	15,066	14,905	14,999	14,921
	事業費	千円	15,066	14,905	14,999	14,921	

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 14,932,608円 【市の活動実績】 ・修繕 1件 109千円 ・備品 1件 150千円 ・コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と連携し利用者の安全を図りながら運営を行った。	・利用者アンケートでは、「総合的な施設の印象」の項目で、「期待した以上に良かった・期待どおりだった」が75%で昨年度よりも増加した。 ・コロナ禍においても適切な管理運営を行った結果、コロナウイルスによる大きな感染拡大などなかった。 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02464	事務 事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	安心安全な施設運営ができるよう指定管理者と連携して、必要な施設整備や備品整備を計画的に進めるとともに、多くの市民の方がスポーツを親しむことができるよう自主講座の充実を図る。また、日々変わり行くコロナ禍の感染状況を正確に把握し適切な安全運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02465	事務事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和2年度 ~ 令和6年度)	
目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市営プール設置管理に関する条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 【施設の概要】所在地:(霧島市隼人庭球場・隼人健康温水プール)霧島市隼人町松永1678番地1、(隼人温水プール)霧島市隼人町松永二丁目80番地
 施設及び開設日:霧島市隼人庭球場(平成15年寄附)、隼人健康温水プール(平成16年)、隼人温水プール(昭和44年)
 開館時間:隼人庭球場8:30~21:00、隼人健康温水プール・隼人温水プール10:00~21:00
 【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間:令和2年度~令和6年度
 *隼人松永運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。
 【主な利用料金】隼人庭球場:1コートにつき300円/時間(児童生徒は半額)、隼人健康温水プール・隼人温水プール:一般330円/回、高齢者・児童生徒170円/回

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 指定施設数	施設	3	3	3	3
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	4	6	4	6
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	6	6	4	6

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上によかった・期待どおりだった」の割合	%	75	80	80	82
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	35,754	45,000	32,275	45,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	25,171	24,585	25,025	24,585
事業費		千円	25,171	24,585	25,025	24,585	24,530

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 25,024,658円 【市の活動実績】 ・修繕 4件 2,257千円 ・コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と連携し利用者の安全を図りながら運営を行った。	・利用者アンケートでは施設運営の満足度において80%が「期待した以上によかった・期待どおりだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。 ・コロナ禍においても適切な管理運営を行った結果、コロナウイルスによる大きな感染拡大などなかった。 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02465	事務 事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	隼人温水プールは昭和44年に建設され約50年が経過しており、施設の老朽化が激しい。また屋根や外壁がスレート材のため、冬になると室温及び水温の維持ができないため、非常に寒く利用者からも改善を求める声が大い。また施設を支える鉄骨についても、サビや腐食が進んでいる。今後の施設のあり方について市の公共施設管理計画との整合性を図りながら検討を行う。また、日々変わり行くコロナ禍の感染状況を正確に把握し適切な安全運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02467	事務事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ（社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり）			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			担当課長	久木田 勇
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			グループ	施設管理グループ
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返（開始年度 平成17年度 ~ ） 期間限定複数年度（ ~ ）			
目	10 教育費	根拠法令・条等				
	07 保健体育費	関連計画				
	03 社会体育施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）						
スポーツ・文化振興課及び各総合支所地域振興課が所管する施設のうち、指定管理者制度を導入していない市の直管施設の管理運営と、市が行わなければならない1件あたり10万円（消費税含む）以上の修繕を行う事業。 65施設。						
【事務事業の流れ】						
4月下旬までに各所管課より修繕依頼を提出		5月中旬までに各施設の修繕要望箇所を把握。必要に応じて現地調査。			5月中旬までに各所管課より修繕依頼を提出	
優先順位を付して、各地区担当者へ予算配当		各地区において修繕の執行				

活動指標（事務事業の活動量）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）
ア 修繕を実施した件数	件	64	45	61	45
イ 購入した備品の件数	回	11	15	24	15
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 （左記対象の大きさを表す指標）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 （左記意図の達成度を表す指標）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（目標）	令和4年度（目標）	令和5年度（目標）
ア 施設を開館する	開館した施設数	件	0	0	0	0
イ 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」「まあまあだった」の割合	%	87	90	91	90
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針（総合計画より）						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。						
また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。						
さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和3年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
施設の高齢化や利用者が偏っている施設もあることから、公共施設管理計画に基づき、施設の統廃合や削減の可能性について検討する。		事業費	千円	5,946	0	5,946	0
		財源内訳	千円	0	1,250	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	193	85,250	193	7,398
		一般財源	千円	102,407	163,659	274,281	40,055
		事業費	千円	108,546	250,159	280,420	47,453

5. 令和3年度の実績及び成果	
(1) 令和3年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
【直営施設実績】 ・11施設 【10万円以上の修繕実績】 ・61件 26,297千円 【備品購入の実績】 ・24件 22,921千円	・61件の修繕を実施し、利用者の安全、安心な利用環境を提供でき、長寿命化策が図られた。 ・24件の備品購入を実施し、大会等で利用する備品の充実を図り、老朽化した備品の改善を行ったことで、スムーズな大会運営が遂行された。 ・直営施設については、地域活動での利用が多く、利用状況に即した事務手続きを運用したことで、地域住民の利便性を図ることができた。

事務事業 番号	02467	事務 事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して維持管理及び修繕を行うことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化、今後の過重な更新・改修コストの負担、環境要因（人口・利用者ニーズ等）の変化及び財政健全化などの課題に対処するため、「霧島市公共施設管理計画」及び「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（平成30年3月スポーツ庁策定）に基づき「霧島市社会体育施設長寿命化計画」を令和5年度に策定する。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	「霧島市社会体育施設長寿命化計画」の策定を進め、今後の社会体育施設の方向性を個別施設毎に定める。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

